

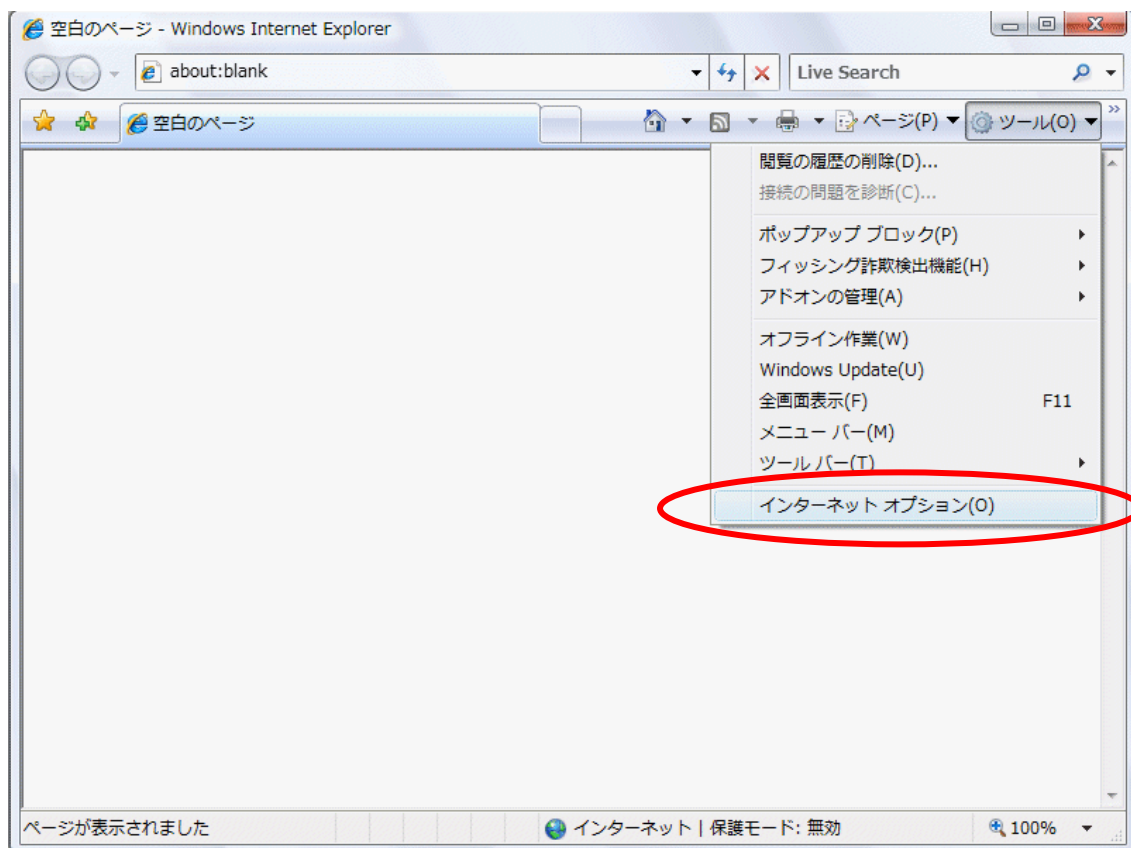
## Java の無効化によるセキュリティホールの回避方法

電子入札コアシステムの利用に必要な Java(TM) 2 Runtime Environment (以下「JRE」と表す) の特定のバージョンには悪意のあるサイトに接続した場合にセキュリティ上の問題が発生する可能性があることが報告されています。

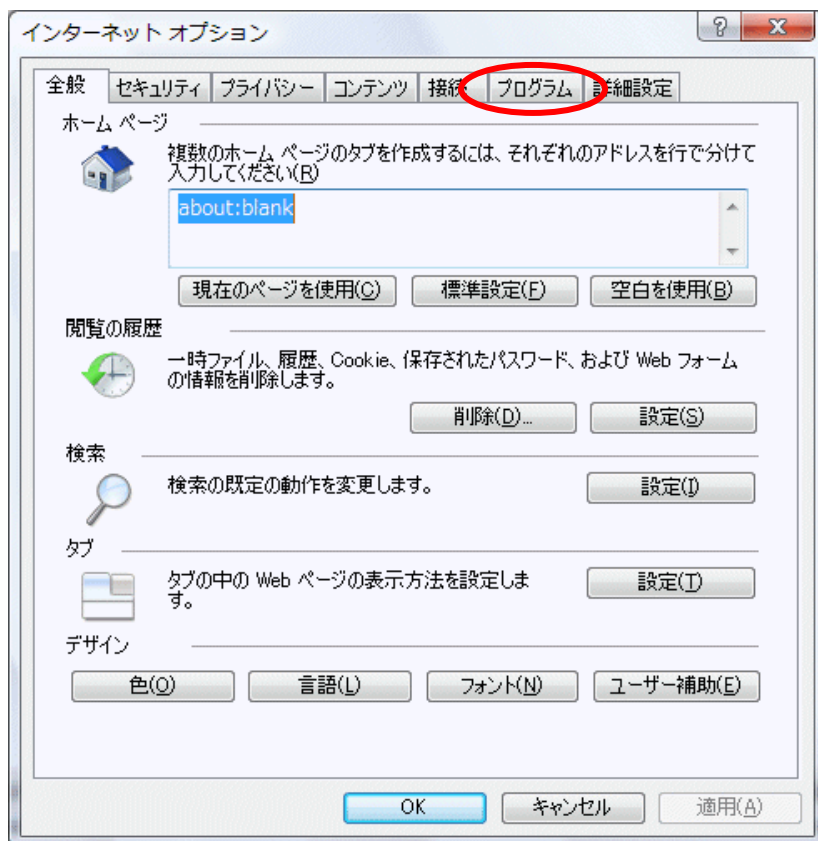
サンマイクロシステムズ社から最新の JRE を入手し、インストールすることで解決することが可能です。JRE のバージョンを変更できない場合には以下の方法で JRE を無効化できるため、電子入札を利用しないときの対策としてご検討ください。

### <Windows Vista + Internet Explorer 7 の場合>

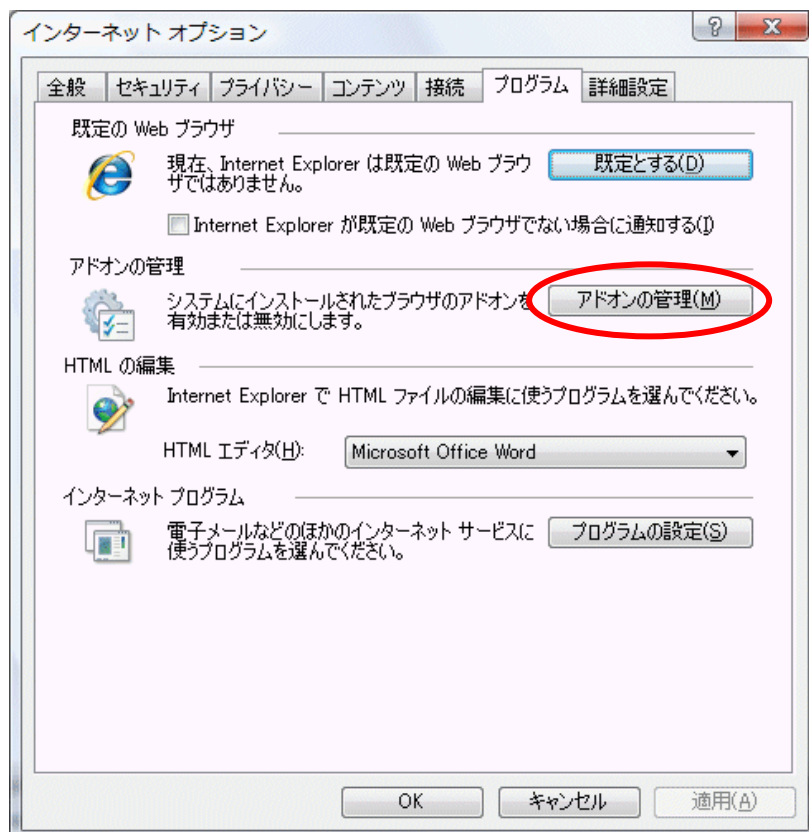
**[手順 1]** インターネットエクスプローラを開く。[ツール] の [インターネットオプション] を選択する。



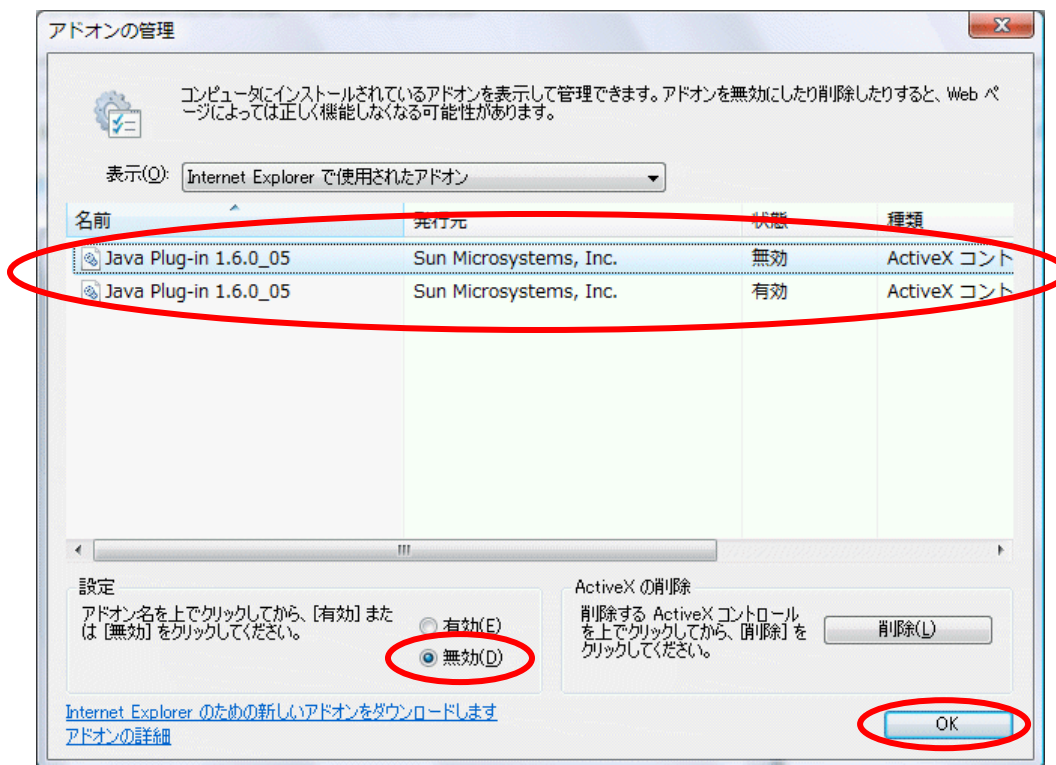
[手順2] [インターネットオプション]の[プログラム]タブを選択する。



[手順3] [プログラム]タブ画面の「アドオンの管理」ボタンを押下する。



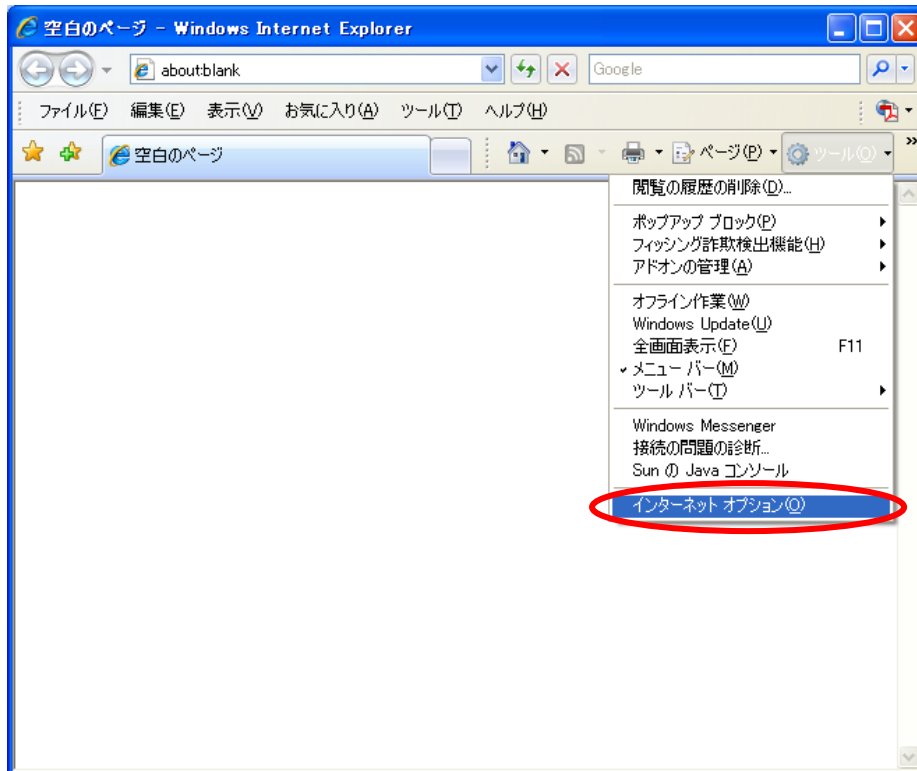
**[手順4]** [アドオンの管理]画面の「Java Plug-in x.x.x\_xx」を選択し、[設定]の項目より「無効」を選択する。全ての「Java Plug-in x.x.x\_xx」を「無効」に設定後「OK」を押下する。



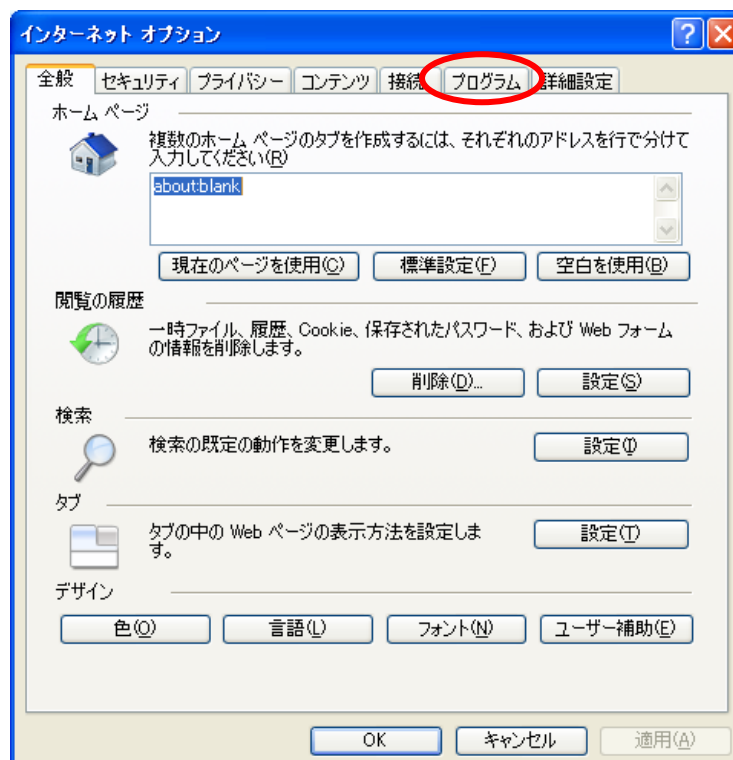
**[手順5]** すべてのインターネットエクスプローラ画面を閉じる。

## <Windows XP + Internet Explorer 7 の場合>

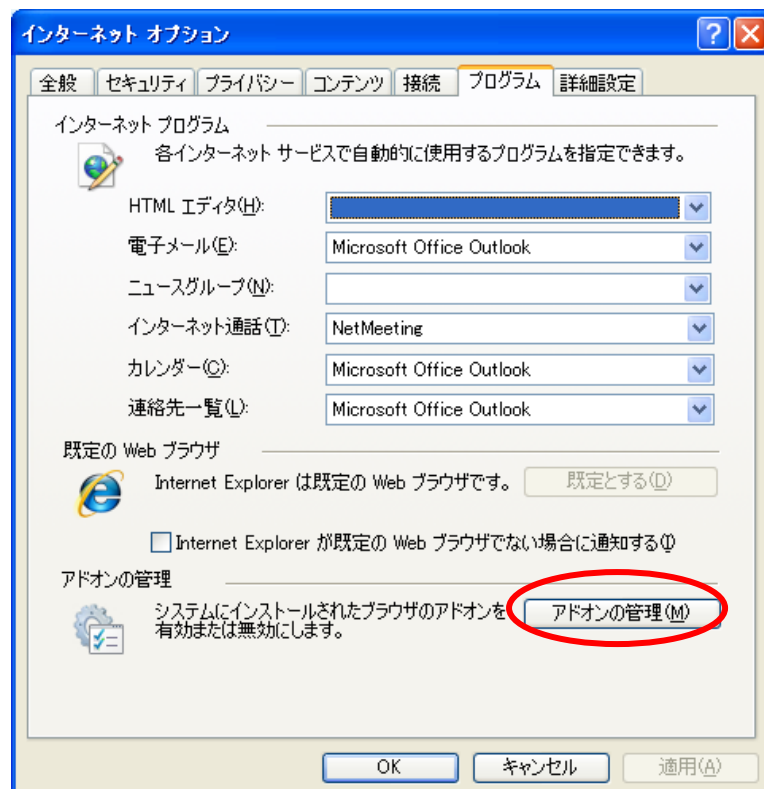
**[手順 1]** インターネットエクスプローラを開く。[ツール]の[インターネットオプション]を選択する。



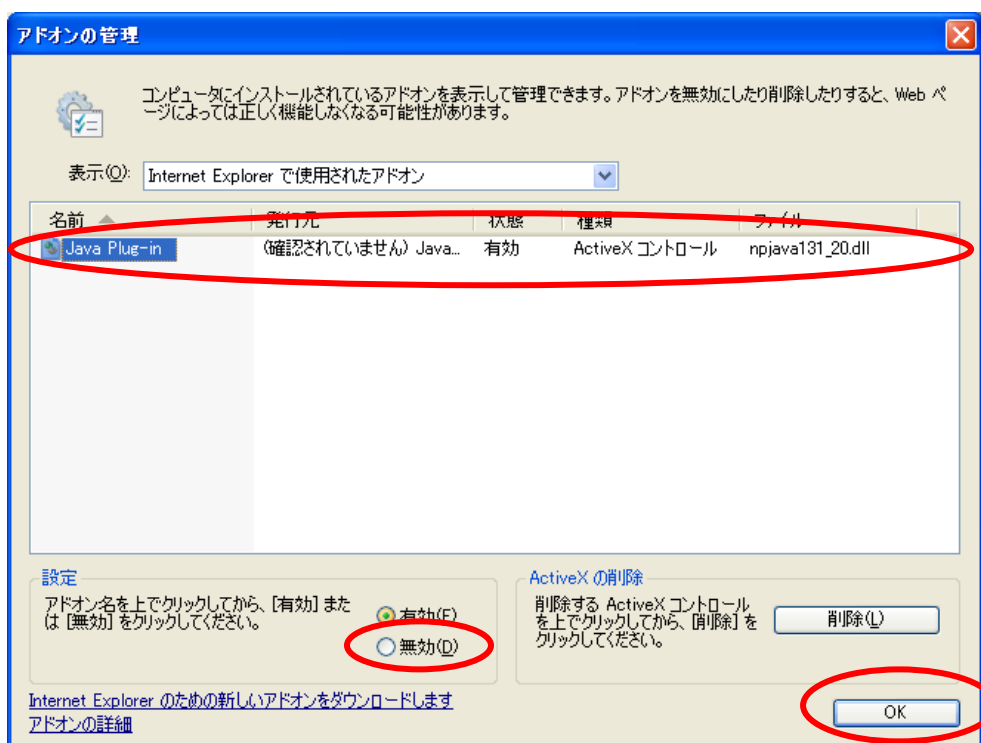
**[手順 2]** [インターネットオプション]の[プログラム]タブを選択する。



[手順3] [プログラム]タブ画面の「アドオンの管理」ボタンを押下する。



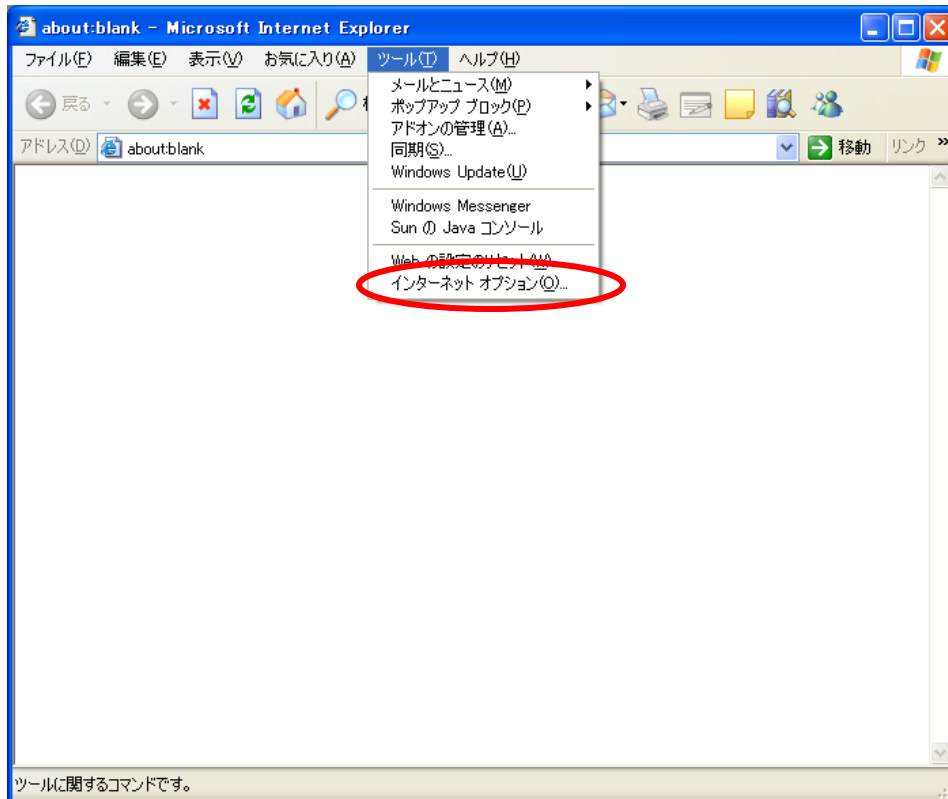
[手順4] [アドオンの管理]画面の「Java Plug-in x.x.x\_xx」を選択し、[設定]の項目より「無効」を選択する。全ての「Java Plug-in x.x.x\_xx」を「無効」に設定後「OK」を押下する。



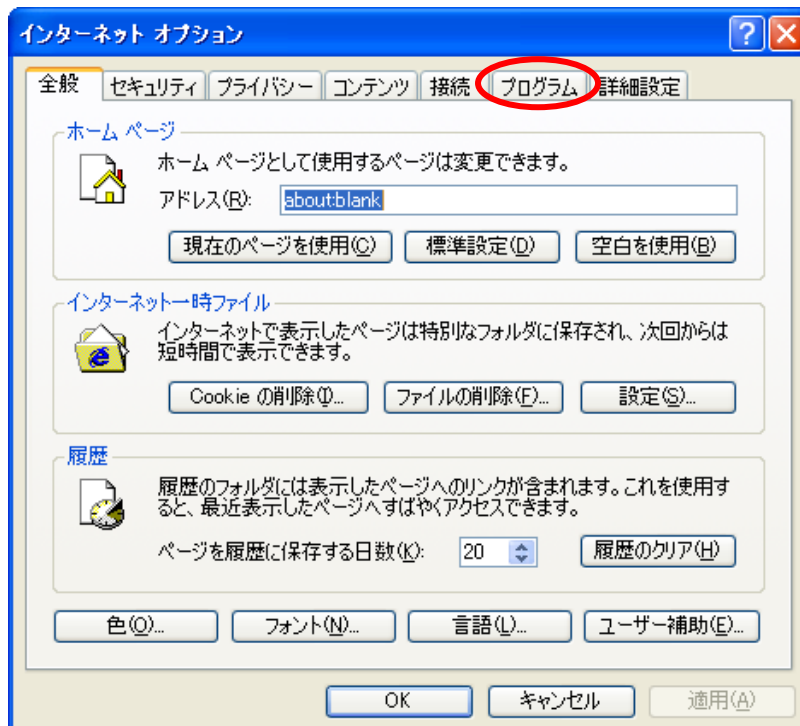
[手順5] すべてのインターネットエクスプローラ画面を閉じる。

## <Windows XP + Internet Explorer 6 の場合>

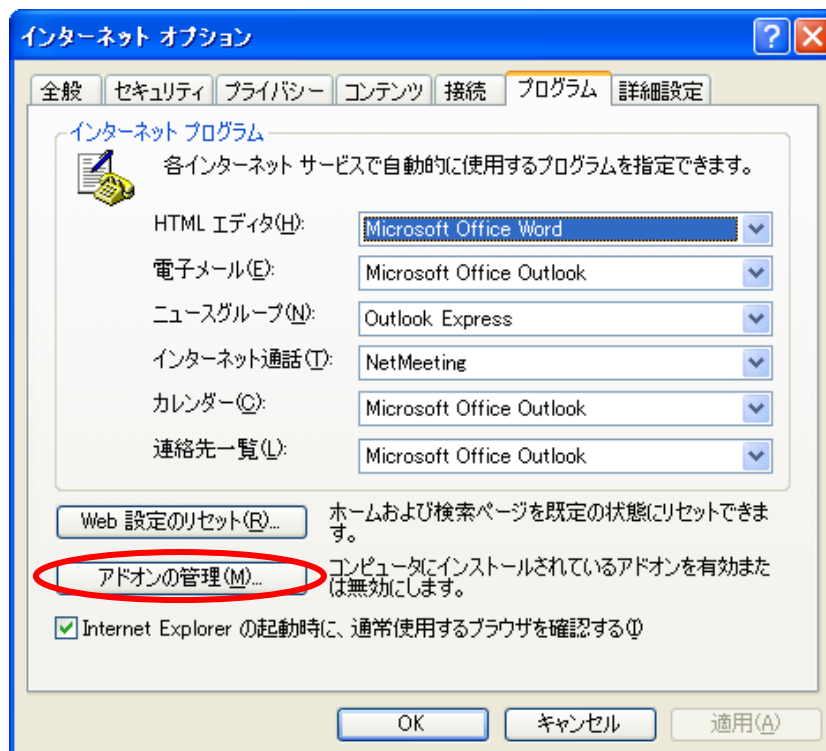
[手順1] インターネットエクスプローラを開く。[ツール]の[インターネットオプション]を選択する。



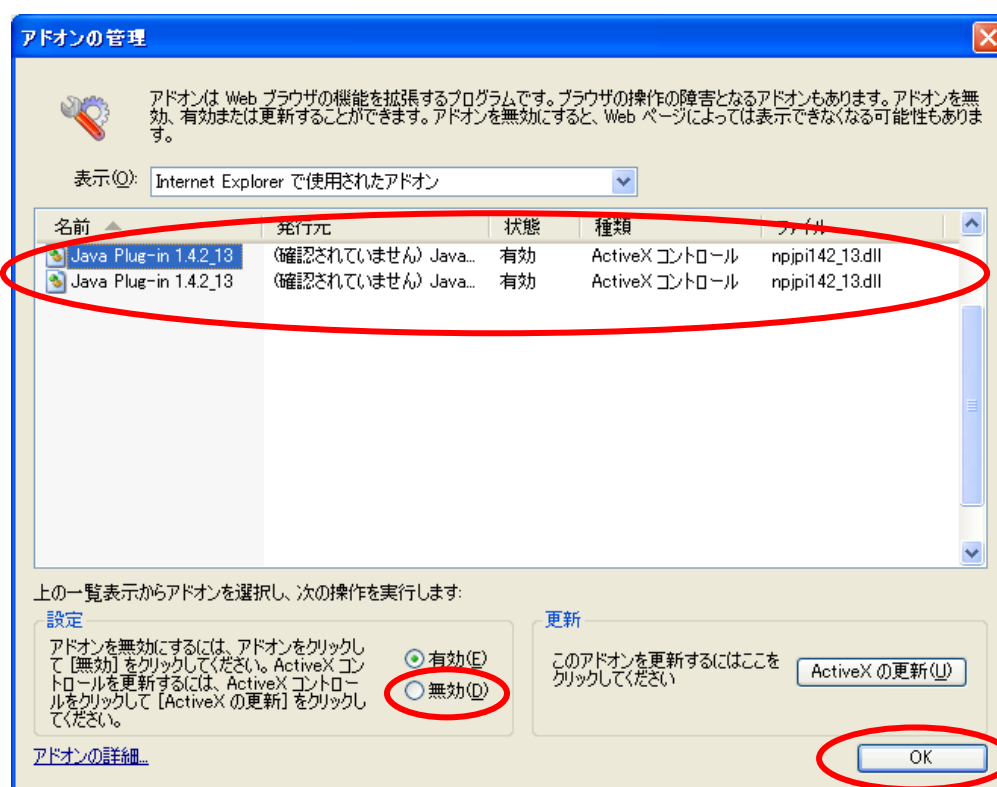
[手順2] [インターネットオプション]の[プログラム]タブを選択する。



[手順3] [プログラム]タブ画面の「アドオンの管理」ボタンを押下する。



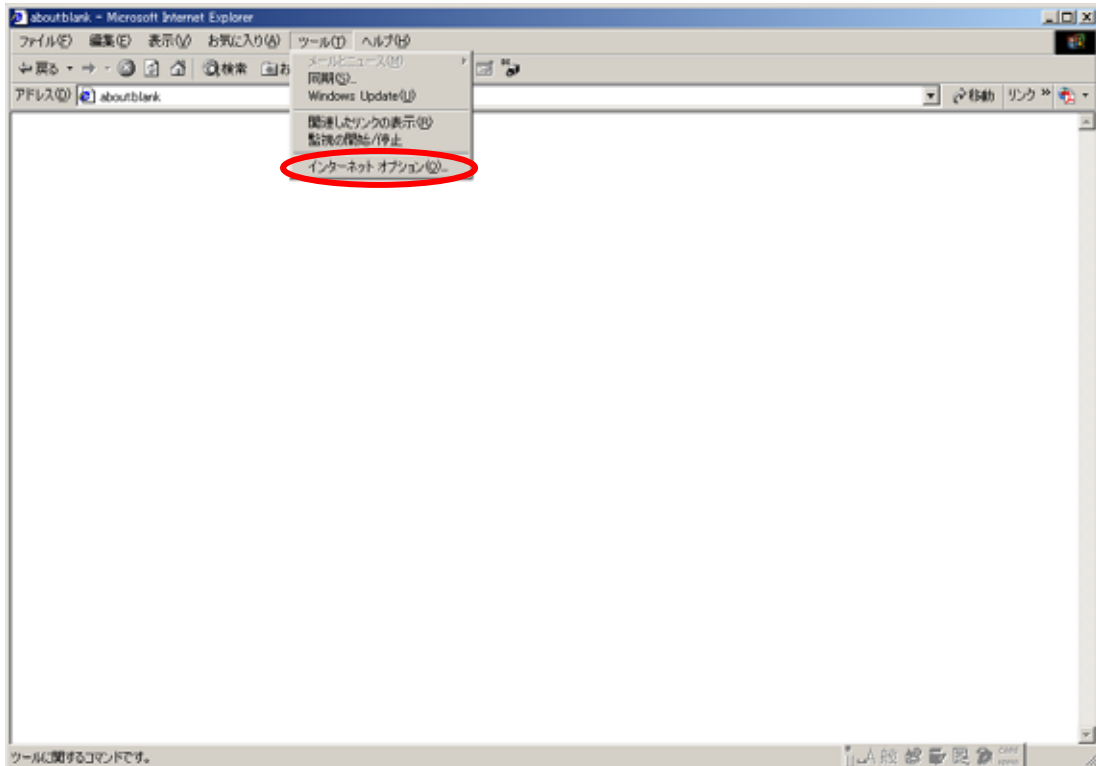
[手順4] [アドオンの管理]画面の「Java Plug-in x.x.x\_xx」を選択し、[設定]の項目より「無効」を選択する。全ての「Java Plug-in x.x.x\_xx」を「無効」に設定後「OK」を押下する。



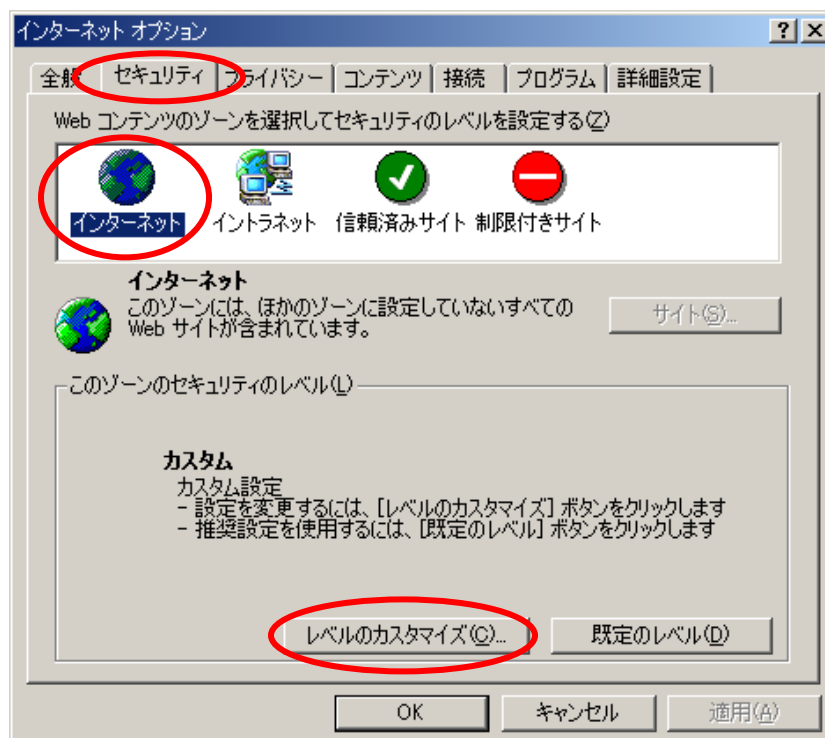
[手順5] すべてのインターネットエクスプローラ画面を閉じる。

## <Windows 2000 + Internet Explorer 6 の場合>

**[手順1]** インターネットエクスプローラを開く。[ツール]の[インターネットオプション]を選択する。



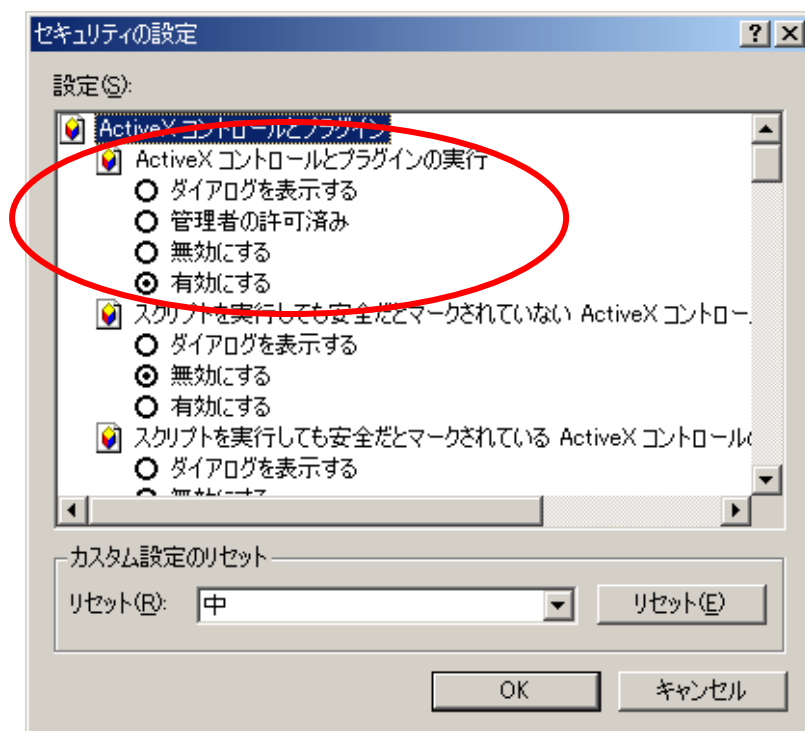
**[手順2]** [インターネットオプション]の[セキュリティ]タブを選択し、インターネットをクリックして、「レベルのカスタマイズ」ボタンを押下する。





**[手順3]** 「ActiveX コントロールとプラグインの実行」のオプションを“無効にする”もしくは“ダイアログを表示する”に変更する。

注意 “無効にする”を選択している状態では、WindowsUpdateなどの機能も止まってしまう。



**[手順4]** すべてのインターネットエクスプローラ画面を閉じる。